



2009年がスタート!

1月16日(金) フォーラム設立10周年記念シンポジウム

私たちの未来を描く～京都が変われば世界が変わる～

**皆様のご参加
お待ちしております!**

環境と共生する持続可能なまちづくりを目指し、市民、事業者、行政のパートナーシップで地域の特性を活かした取組を推進しているフォーラムは、地球温暖化防止京都会議(COP3)翌年の1998(平成10)年11月の設立から10周年を迎え、記念シンポジウムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

■フォーラム設立10周年記念シンポジウム

◇ 日 時 1月16日(金) 15時30分～18時

◇ 会 場 京都商工会議所 3階 講堂
(地下鉄丸太町駅 6番出口)



◇ 内容

(1) フォーラム10年の歩み

報告者 小幡 範雄 フォーラム幹事長

(2) パネルディスカッション

コーディネーター 枚本 育生 フォーラム副幹事長
パネリスト

上村 多恵子 氏 社団法人京都経済同友会常任幹事

加藤 三郎 氏 特定非営利活動法人環境文明21共同代表

内藤 正明 フォーラム代表

大島 仁 フォーラム副幹事長

田浦 健朗 フォーラム幹事

◇ お問合せ フォーラム事務局(担当:竹村)まで

◇ 参加費 無料 ◇ 申込 不要 ◇ 定員 250人

◇ 開催趣旨

フォーラム設立10周年を機に、これまでの取組を振り返るとともに、地球温暖化問題を取り巻く情勢が当時から大きく変化し深刻さを増す今日の状況を踏まえ、低炭素社会構築の視点から将来の社会像を提言し、京都議定書誕生の地であるこの京都から発信します。

フォーラム設立10周年記念会員交流会“サロンdeエコ”

◇ 日 時 1月16日(金) 18時30分～20時30分

◇ 場 所 京都商工会議所 2階 教室

◇ 参加費 2,500円(当日お支払いください)

◇ 申込・お問合せ フォーラム事務局(担当:竹村)まで

◇ 定 員 150名(事前申込制・先着順)

事務局動静

事務局スタッフの動きを報告します。(10月16日～11月15日)

10月16日(日) エコドライブ大行動フェスタ'08

17日(月) 豊中市から視察団来訪

20日(木) 合同WG会議

21日(金) カナート洛北省エネ相談所

24日(月) 家庭の省エネアドバイザー養成講座

25日(火) 歩いて楽しいまちなか戦略第8回幹事会

26日(水) KESC おひさまチーム会議

28日(金) 暮らしの匠事業本部会議

29日(土) 京都南部高度集積地区キッズ環境フェスタ

30日(日) 第2回ボランティア市民活動フェスタ

11月3日(水) 脱温暖化行動キャンペーン京都ネットワーク会議

中長期ビジョンに関するワークショップ

9日(火) 京グリーン電力供給事業所打合せ

10日(水) つくし保育園 KESC おひさまチーム活動

12日(金) 京都カーボンオフセット事業タスクフォース会議
自然エネルギーWG運営会議

13日(土) 京都環境フェスティバル2008

14日(日) 京都環境フェスティバル2008

15日(月) 京都市自転車等駐車対策協議会
びっくり!エコ100選打合せ

2030年のフォーラムを展望して合同WG会議を開催 5つのWGのメンバーが一同に会して意見交換

11月20日、ウイングス京都（中京区）において、5つのワーキンググループ（WG）のメンバーが一同に会して意見交換を行う合同WG会議が開催されました。フォーラム設立10周年を迎えるのを機に、中長期的な視点でフォーラムの将来とWG活動の姿を展望しました。

フォーラムの未来の姿としては、ほとんどの家庭と事業所に脱温暖化の取組が浸透し、事実上、市民と事業所の大半がフォーラムの会員となっているような状況を目指すべきであろう、という意見に同意が集まりました。

そのなかで、未来のフォーラムのWGは、今よりもはるかに大胆に事業の創出と育成を進めているのではないか、例えば、環境にやさしい交通手段として都市型レンタサイクル事業、あるいは何か新しい交通機関について市民組織・非営利組織が主体となった事業を展開しているくらいのことは十分ありえるだろう、といった意見が出されました。

各WGメンバーにとって、この会議は、互いのWGの関心領域などに関する生の話を聞く機会となり、幅広い視点からフォーラムの活動の発展を考えるためには、このような分野を横断する意見交換の場をこれからも持っていきたいという意見で一致しました。



【写真】5つのWGメンバーが一同に会した合同WG会議

京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクト 伏見区・市民共同おひさま発電所づくりチーム つくし保育園で手作り紙芝居を実演

京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクトでは、京都の各地域で、地域の事業者、住民、学校・保育園・幼稚園の協同で環境問題に取り組む仕組みづくりを目指しています。

KESC「伏見区・市民共同おひさま発電所づくりチーム」（以下「おひさまチーム」）では、認定NPO法人きょうとグリーンファンドの協力を得て、昨年度から、伏見区のとくし保育園で活動を行ってきました。

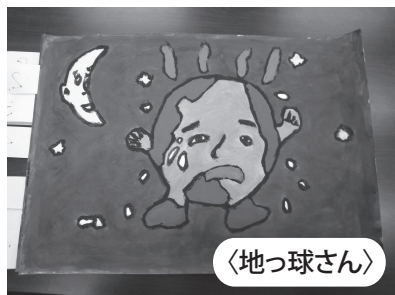
おひさまチームでは、昨年度の保育園の屋根に太陽光発電パネルを設置するための寄付に続いて、今年度は「園児たちに手作りの紙芝居を見てもらいたい」と、5月から環境学習紙芝居の制作を始めました。先日、紙芝居が完成し、12月10日の保育園のお誕生日会で、初めて上演しました。（p.3へ続く）



【写真】紙芝居は、ストーリーも絵も、全て手作り。

【紙芝居のストーリー紹介】

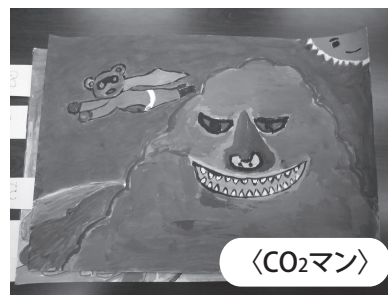
みんなが住んでいる地球の〈地っ球さん〉が「暑い、暑い」としんどそうにしています。



そこで、スーパータヌキの〈環境くん〉が、〈地っ球さん〉の体の中に入って調べてみました。



すると、温室効果ガスの〈CO₂マン〉が大きくなって暴れていました。



〈地っ球さん〉が大変だ！〈環境くん〉の活躍はみんなの応援にかかっています。

■ KESCおひさまチームの手作り環境紙芝居 初上演は大好評

(p.2 から)「どうして CO₂ マンが大きくなってしまったんだろう?みんな、家で無駄な電気をつけっぱなしにしたりしていないかな?」「していない!」

おひさまチームのメンバーの紙芝居を上演しながらの問いかけに対し、園児たちは元気に返事してくれました。つくし保育園では、以前から園児たちが環境のことを勉強してきたので、CO₂ などの難しい言葉をよく知っていました。KESC メンバーの皆さんは、初上演とあって緊張しながらも、元気いっぱいの園児たちを前に、環境学習紙芝居を熱演しました。

つくし保育園の山下園長先生からは、「大きくなって CO₂ マンが、みんなが環境に配慮した生活をするようになると小さくなるなど、分かりやすい話で、なかなかの力作でした。子どもたちも楽しみながら、学べたのではないかと喜んでいます」というコメントをいただきました。

紙芝居のあとは、太陽光や手回し発電で動くおもちゃの実演を行い、おひさまチームメンバーと園児が交流しました。ここで実演した各種のおもちゃは、メンバーの皆さんが、市販のものを会社に持ち帰り、太陽光発電や手回し発電で動くように改造したもの



【写真】紙芝居終了後、全員で挨拶

です。こうしたおもちゃを動かしてみることで、園児の皆さんは、「自分で電気をつくっておもちゃを動かすのは大変」といった感想を持ったようです。

紙芝居づくりの準備は大変でしたが、メンバーの皆さんからは、「やりがいがあった」、「緊張したが、楽しかった」という感想が聞かれました。今後も KESC おひさまチームでは、継続して、つくし保育園で環境にやさしい地域づくりのための活動を行っていきたいと考えています。



【写真】子どもたちに大人気だった、手回し発電のおもちゃ



【写真】山下園長先生とチームの皆さん

■ KESC おひさまチームの皆さん (順不同)

チームリーダー

山本龍太郎さん (公栄運輸株式会社 代表取締役社長)

メンバー

笠井文雄さん (公栄運輸株式会社 取締役総務部長)

久野義夫さん (公栄運輸株式会社 車両係長)

川阪益造さん (京都電測株式会社)

竹田利幸さん (科研製薬株式会社)

長屋博久さん (有限会社村田堂 取締役)

芝田春雄さん (市民)



【写真】ミーティングのようす

■ 実施園 社会福祉法人 京都地の塩会つくし保育園

「京グリーン電力証書」活用事業をご紹介します

京都・嵐山花灯路 2008 2008 年 12 月 12 日 (金) - 21 日 (日)

京都・東山花灯路 2009 2009 年 3 月 13 日 (金) - 22 日 (日)

●「京グリーン電力証書」を活用して実施されている「京都・花灯路」

観光オフシーズンの観光客誘致を目的として 2003 年にスタートした「京都・花灯路」は、今やすっかり冬の京都の一大イベントとして定着し、1 シーズンに 170 万人ほどの観光客を集めています。

フォーラムにとって「京都・花灯路」は、昨年「京グリーン電力証書」購入第 1 号として活用いただいた実績があります。今年は全使用電力量に相当する「京グリーン電力証書」を購入してライトアップを実施しています。



【写真】「京グリーン電力証書」を活用しています

●「京都・嵐山花灯路 2008」を取材しました

12 月には「京都・嵐山花灯路 2008」が実施されました。大勢の観光客といっしょに電車で現地に入ると、渡月橋と山裾、水辺など周辺一帯がライトアップされ、雄大で美しい夜の自然景観がドラマチックに演出されています。シャトルバス等も運行されており、広い範囲をゆっくりと散策しながら楽しむことができます。取材当日は週末ということもあ

り、多くの観光客が幻想的な風景をカメラに収めていました

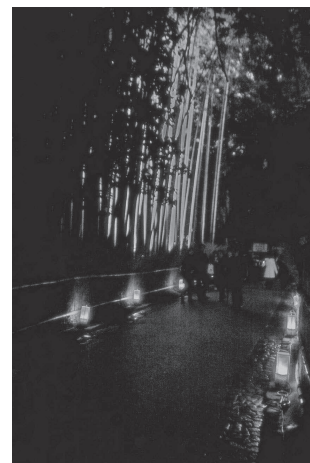


【写真】ライトアップされる嵐山渡月橋

これを主催する「京都・花灯路推進協議会」の担当者の方からは「ライトアップを行う際の地球温暖化対策として京グリーン電力証書の活用は効果的であり、観光客からの環境対策への問合せにも納得いただける手段である」と評価するコメントをいただいています。



【写真】左：幻想的に演出された嵐山公園
右：ライトアップされる竹林の小径



●3 月には「京都・東山花灯路 2009」が開催されます

3 月には、東山区の清水寺から祇園・八坂神社にかけての東山一帯において「京都・東山花灯路 2009」が開催されます。どうぞ、グリーンな電力による幻想的な空間を体験しにお出かけ下さい。

◆◇ 新年は、1 月 5 日 (月) より業務を開始します。 ◇◆

事務局短信

不景気の一因と言われた昨年夏からのガソリン高騰が終焉したにも関わらず、世間は非正規雇用解雇のニュースが飛び交っています。大型ショッピングモールを展開してきた企業も事業の見直しを始めましたが、いまだに大型商業施設が建設中です。エコロジーとエコノミーの共生できる社会を目指し、10 周年記念シンポジウムで京都の未来について共に考えましょう。(西本雅則) / 10 周年記念シンポジウムを直前に控え、落ち着いた年末年始になりそうです。出にくい時期ですがフォーラムにとって大切な節目の事業となりますので、会員の皆さんはぜひご参加ください。(竹村光世) / 京都市に水族館建設予定。計画している企業の発表によると、建物からの CO₂ 排出量だけでも年間 4500 ~ 8000 t とのこと。(T.T) 梅小路公園には、水族館ではなく、市民が憩える森林公園のほうが向いていると思います。(小山直美) / 新しい年を新しい事務局体制で迎えます。気持ちを新たに業務を推進していきます。(長谷川吉典) フォーラム設立 10 周年記念シンポジウム、新年幕開けにふさわしいものになることを期待しています。(小西賢人)